

事業所名		富山県リハビリテーション病院・こども支援センター		児童発達支援センター支援プログラム		作成日		令和 7年		2月		13日	
法人（事業所）理念		誰もが、その人らしく暮らせる「共生社会」を目指し、障害児・者の自立と社会参加に向けて、総合的なリハビリテーションを推進し、地域社会に貢献します。											
支援方針		お子さんの発達段階や特性にあった支援を受けることで、好きな遊びや集団活動を通して、生活動作の向上や社会性を育みながら、家庭生活及び保育園等での生活が楽しく送れるようにしていきます。 保育中のお子さんの姿や関わりについて、保護者と相談時間を設け、共通理解しながら支援します。											
営業時間		営業日時：月曜日～金曜日 9時から17時まで 休業日：土・日・祝日（年末年始 12月29日～1月3日）				送迎実施の有無		あり		なし			
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	登園時には問診、視診の実施により健康管理に努め、気になることがあれば、看護師や担当医と連絡調整を行います。 安定した生活リズムや生活習慣の形成に向けて保護者とお子さんの状況を共有しながら支援します。 栄養士の管理のもと、栄養とお子さんの身体状況および嗜好に配慮した食事を提供しています。 ・健康状態の把握、身の回りの始末、衣服の着脱、着替え、手洗い、うがい、排泄、食事等											
	運動・感覚	遊びを通して、自分の身体を知り、使い方を支援します。 お子さんの感覚の特性を踏まえて活動内容の工夫や選択肢のある遊びを行います。 ・水遊びや砂遊び、遊具での運動遊び、バランスボールやタオルブランコ、製作、音楽活動（手遊び、体操）、パラバルーン、布遊び等											
	認知・行動	認知・行動の手がかりになるような概念を形成していけるような遊びや体験活動を行います。 視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用できるよう遊びを通して支援します。 ・スケジュールや見本の提示、歌遊び、絵本、知育玩具、ゲーム、製作、集団活動等											
	言語 コミュニケーション	自分の気持ちや要求を言葉や身振り、表情等で表現できるよう支援します。 友だちや保護者、職員等との関わりを通して人とやりとりする経験を積み重ねていきます。 ・好きな遊び、手遊び、歌遊び、絵本、絵カード、写真等を用いた方法、ゲーム中の作戦、当番活動等											
	人間関係 社会性	親子通所で安心して過ごす中で、職員との信頼関係を築き、周囲の人と安定した関係を形成できるよう支援します。 遊びを通して、友だちとの関わりや集団活動を体験し、社会性を育みます。また気持ちや情動の調整を大人と一緒にを行います。 ・ゲーム等簡単なルールや勝敗のある遊び、好きな遊び、集まりの会											
家族支援		親子通所のため、親子活動中のお子さんの様子を踏まえて、発達状況や子育ての悩みを傾聴したり、関わりを一緒に考え提案したり等の相談援助を行います。 親子分離保育の中では、客観的にお子さんの様子を観察していただく時間を設けています。また保護者のレスパイトにも繋げています。				移行支援		併行利用先の園等と保護者の同意のもと連携し、支援について情報共有を行います。 就学に向けて学校見学の案内を掲示したり、放課後等デイサービス等の福祉サービスについて情報提供を行います。					
地域支援・地域連携		療育体験の機会（ひよこクラブ）を設けています。 医ケアセンター担当者と必要に応じて連携しています。 地域の保育所等や子育てサロン、イベント等の案内を掲示し、情報提供しています。 併行利用先の園と訪問等を通して連携しています。				職員の質の向上		県内外の研修会に参加しています。 月に一回課内研修を実施し、様々なテーマで支援について研修を行います。参加できなかった職員にも情報共有を行います。 支援前後のミーティングや全体ミーティングを通して、お子さんの様子や関わりについて情報共有しています。 病院が併設されているため、多職種連携も大事にしながら支援します。					
主な行事等		こどもの日、七夕会、水遊び、運動遊び週間、ハロウィン、クリスマス会、お正月遊び、節分、ひな祭り、お別れ会、誕生会等											